

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月27日

団体名 NPO法人こえもじ

代表者 亀井祥子

構成員 30人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

広く一般市民を対象とし、音声認識技術の活用を社会へ促す普及啓発に関する事業を行い、人々の生活の質の向上と世代や国籍、障害を越えて人々の交流を促し、相互理解を深め、誰もが社会の一員として生き生きと安心して暮らせる地域共生社会実現と福祉の推進に寄与することを目的としています。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
5月18日	むらさきかん	市民	50人	市民活動博覧会ブース出展
6月23日	やはぎかん	市民	12名	音声認識ラボ in おかざき
12月28日	むらさきかん	市民	6名	音声認識ラボ in おかざき
1月5日	りぶら	市民	70名	第2回みんなのおまつりブース出展

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

コロナ禍からマスク社会となり、聴覚障がい者にとって大変厳しい社会となっていたが、市民社会一般側が音声認識アプリを利用して文字表示をつける社会にすることで少しずつではあるが、生きやすくなった。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

当会は聴覚障がい者はじめ誰もが生きやすい社会を目指して2つの事業を行っている。1つ目は音声認識文字表示をし、誤認識の修正を行っている。2つ目は市民の方が自ら音声認識文字表示をしてコミュニケーションをとる行動をしていく。この2つを活動することで広く市民社会一般へと広がっている。